SEIKO

QR-700 series

QUARTZ TIMERECORDER

取扱説明書

目次

1 QR-700シリーズの特長

2 ご使用になる前に
○本体および添付品の確認 ……5
○使用上のご注意 ……6
●保証について ……6
●環境について ……6
●電源について ……7
○各部の名称とはたらき ……8
●前扉 ……8
●キーボード ……9
●デジタル表示 ……9

3 セットの方法
○セットの手順 ……10
○プログラム表の作成 ……12
○電源を投入します ……14
○日付をセットします ……15
○時刻をセットします ……16
●アナログ時計のセット ……17
○一週間のプログラムをセットします ……18
●週間プログラムの入力例 ……19
●週間プログラムの確認 ……23
●週間プログラムの修正 ……24
○締日をセットします ……28
○改行時刻をセットします ……29
○外部時報吹鳴時間をセットします －QR-723、QR-725－ ……30
○残業単位をセットします －QR-725－ ……31

4 操作の方法
○タイムレコーダの作動 ……32
○印字欄の移動 ……33
○コメント印字(代打処理) ……34
○休日の登録と印字 ……35
●休日の登録 ……35
●休日の確認・修正 ……37
●休日の印字 ……38
○メロディの吹鳴 ……39
●音量調節のしかた ……39

5 プログラム使用例を使ったセット(カードの種類とプログラム例)
○カードの種類と使い方 ……40
○プログラム使用例 ……42
○プログラム使用例の呼び出し方 ……49

6 外部時報のつなぎ方 50

7 こんな場合は
○エラー番号一覧 ……52
○印字がうすくなったら ～リボンの交換～ ……53
○停電したら ……54
○ヒューズが切れてしまったら ……55

8 仕様一覧 56

9 付属品(別売)一覧 57

10 セットの早見表 58

週間プログラム表

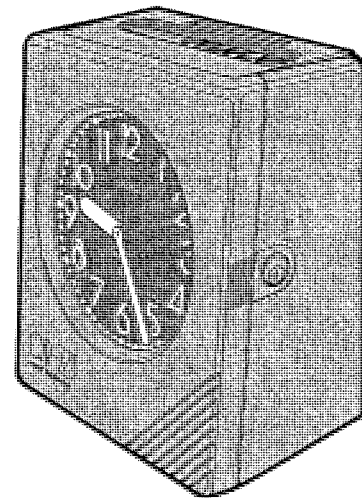
1 QR-700 シリーズの特長

特長	QR-721	QR-723	QR-725
アナログ時計の装備	○	○	○
赤・黒2色の印字	○	○	○
休暇や出張などのコメント印字	○	○	○
1ヶ月分の休日の登録と印字	○	○	○
カードの自動判別	○	○	○
カードの自動引き込み	○	○	○
すべてのカードに対応	○	○	○
使用プログラム例の内蔵	○	○	○
始業、終業の設定が可能	○	○	○
2週間の停電補償	×(3日間)	○	○
9曲のメロディをプログラムで設定	×	○	○
印字欄の位置をプログラムで指定	×	○	○
残業積算時間を印字	×	×	○
始業時刻(または終業時刻と残業時間印字開始時刻)、時報、印字欄を1セットで簡単に設定。 残業の指定は QR-725のみ	×	○	○

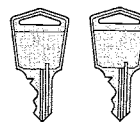
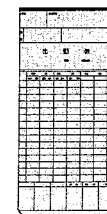
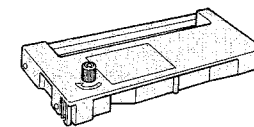
2 ご使用になる前に

本体および添付品の確認

QR-700シリーズの梱包がお手元に届きましたら、下記の本体および添付品を確認してください。

●本体

●保証書

●取扱説明書(本書)

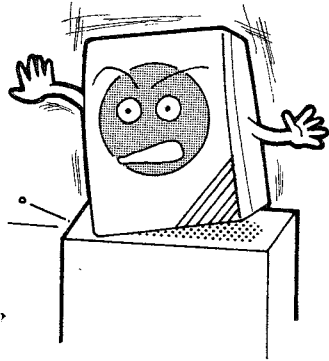
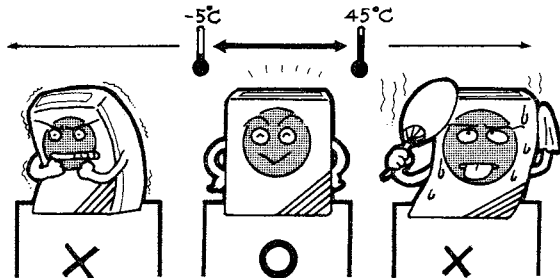
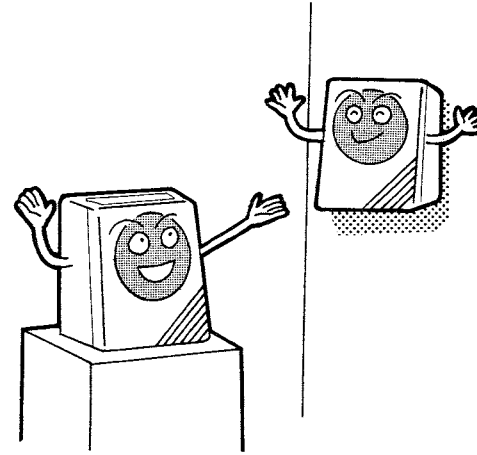
●鍵(2個)

●カード(C カード1枚)

●リボンカセット

使用上のご注意

保証について

1年間の無償保証がついています。保証書は大切に保管してください。

環境について

次のような場所でのご使用は避けてください。

●湿気やほこりの多い場所　●直射日光のあたる場所
●振動の激しい場所または常時振動が発生している場所

●レコーダの全機能が正常に作動する使用温度範囲は-5℃から45℃までです。この温度範囲を超えない場所に設置してください。また、急激な温度変化を与えないでください。

●台の上に載せて使用する場合は、高さ70～80cm程度の台をご使用ください。(SEIKO専用レコーダ・スタンドを用意していますので、ご利用ください。)
なお、壁面に取り付けて使用することもできます。(壁掛け金具は別売です。)

注
＊壁掛け金具に同梱されているネジは木造の厚い壁や木の柱でご使用されることを前提としており、それ以外の条件の場所ではご使用にならないようにしてください。タイムレコーダが落下してしまう等の原因となります。

電源について

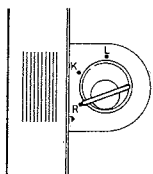
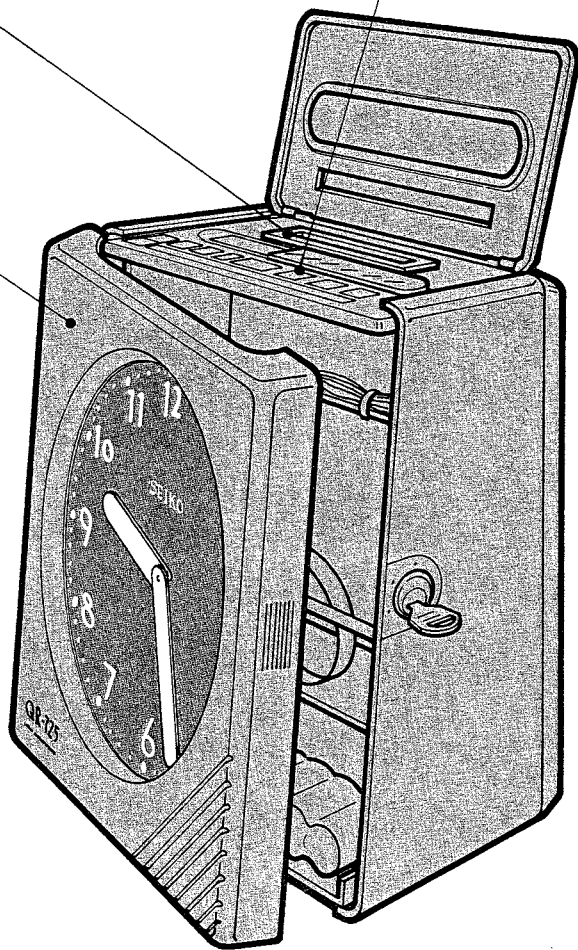
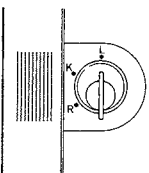
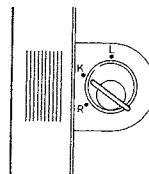
電源はAC100V(±10%)、周波数は50Hzまたは60Hzでお使いください。
電源コードは、コンセントに確実に差し込んでください。
なお、電源変動の大きいところでの使用は避けてください。
万一故障の際には、お求めの販売店にご相談ください。

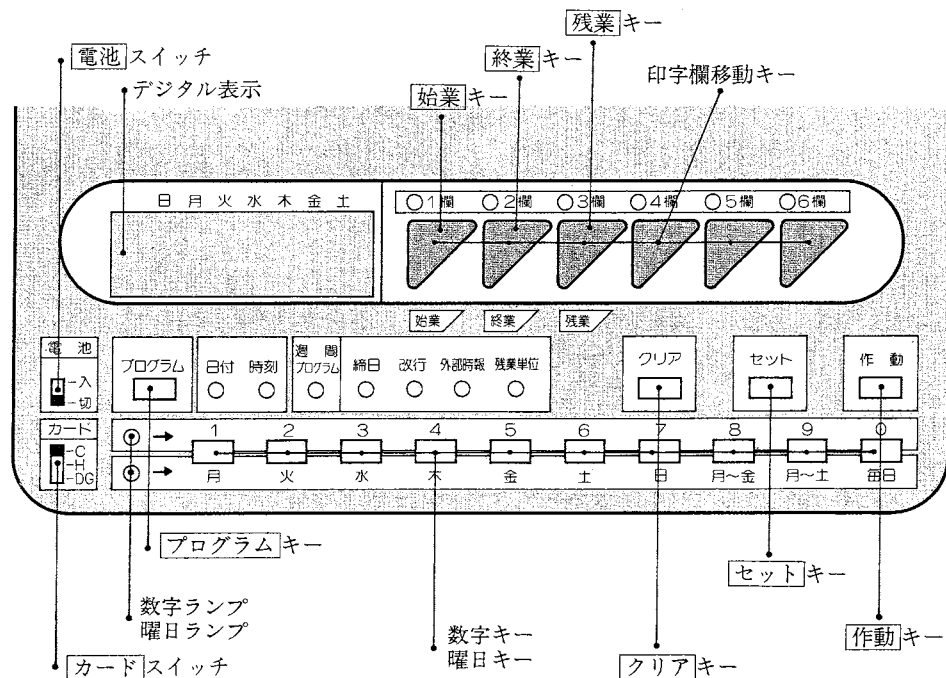
停電時も内部電池により時刻・日付の更新、プログラムの保存ができます。
ただし、初めてご使用のときや、長時間の停電があったときは、内部電池がなくなっていますので、1日以上通電させてください。
通常は、1日8時間通電すれば、内部電池を満充電の状態に保つことができます。

各部の名称とはたらき

●カードロ
カードを挿入すると、自動的に引き込まれて、印字が行なわれ、排出されます。

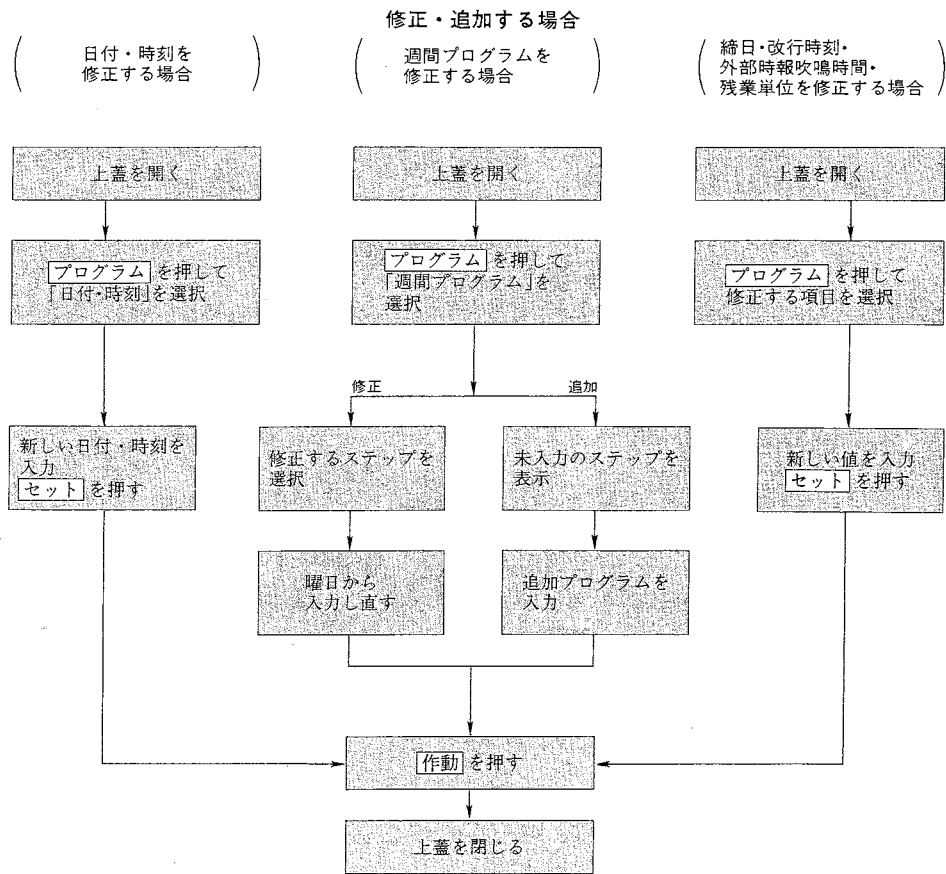
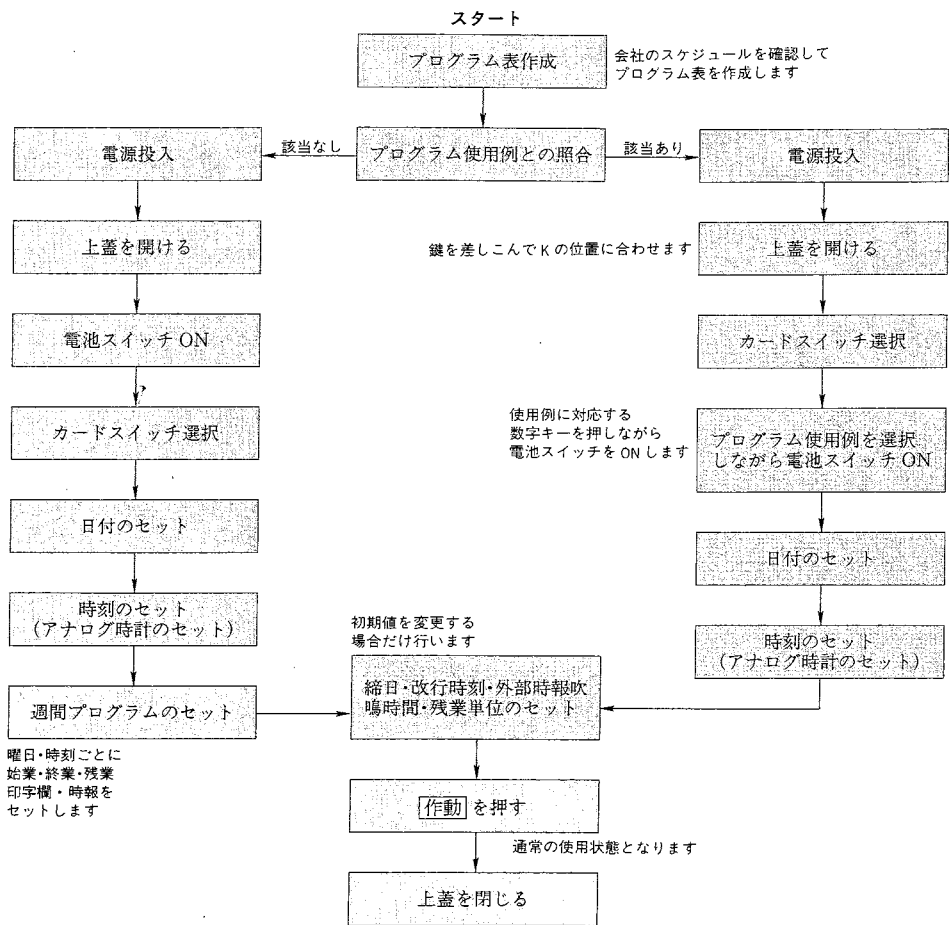
●前扉
アナログ時計を調整したり、リボンカセットを交換するときは、下記の手順で前扉を開閉してください。

①鍵を「R」の位置に合わせます。

②前扉を開きます。
③上蓋を開きます。
④閉めるときは、上蓋、前扉の順に閉じます。
⑤鍵を「L」の位置に戻して、鍵穴から抜きます。

●キーボード
プログラムのセットやメロディの選択など、キーボードを使用するときは、下記の手順でキーボードを開閉してください。
①鍵を「K」の位置に合わせます。

②上蓋を開きます。
③閉めるときは、上蓋を閉じてから、鍵を「L」の位置に戻して鍵穴から抜きます。

●キーボード図(QR-725の場合)

3 セットの方法

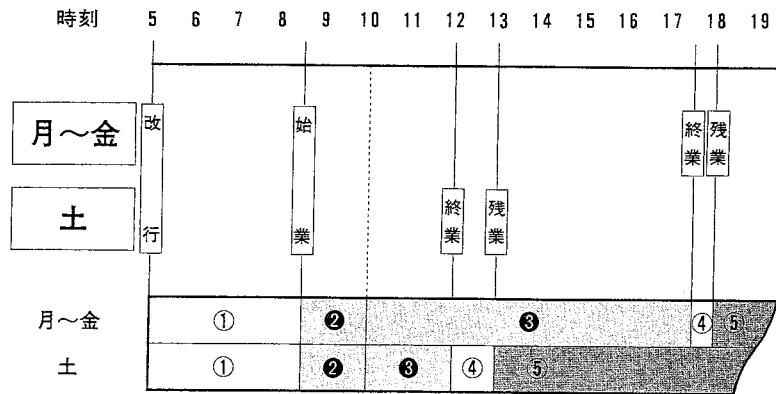
ここでは、次のセット方法を説明します。
- ●日付と時刻
- ●週間プログラム
- ●締日
- ●改行時刻
- ●外部時報吹鳴時間
- ●残業単位

●始めに「セットの手順」でそれぞれのセットの方法をおおまかに頭に入れてから各セットに移ってください。
●なお、QR-700シリーズでは、あらかじめよく使用される週間プログラム例を用意しています。
ご自分のプログラムに該当するものがある方は、それを利用して週間プログラムをセットすると便利です。
●週間プログラム例を利用したセットの方法については、「5.プログラム使用例を使ったセット」をご覧ください。

セットの手順

プログラム表の作成

ご自分でプログラムをセットする方も、用意されているプログラム例を利用する方も、まず最初に、ご自分の会社のスケジュールを確認して、専用のプログラム表を作成してください。

項　目	確認内容	721	723	725
始業	始業時刻(赤印字開始)は何時か	○	○	○
終業	終業時刻(黒印字開始)は何時か	○	○	○
残業	何時から残業時間の印字を開始するか	×	×	○
印字欄	どの印字欄に印字するか	×	○	○
時報	何時にどのメロディを鳴らすか	×	○	○
締日	締日は何日か	○	○	○
改行時刻	何時にカードを改行(翌日の行に移る)するか	○	○	○
外部時報吹鳴時間	外部時報(内蔵されていない時報)を使用する場合に、それを何秒間鳴らすか	×	○	○
残業単位	何分単位で残業時間を計算するか	×	×	○

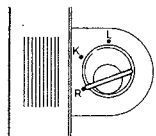
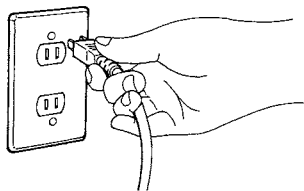
プログラム表(空欄)は本書の巻末にあります。表面は最初の作成用です。直接書き込んでご使用ください。裏面は2回目以降の作成用です。コピーしてご使用ください。
作成の方法については、次頁の作成例を参考にしてください。

＊丸数字は印字欄を示します。
＊ □ は赤印字される時間帯、 ▨ は残業時間帯です。

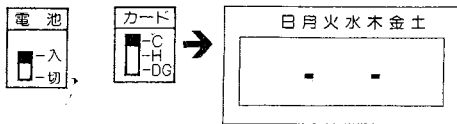
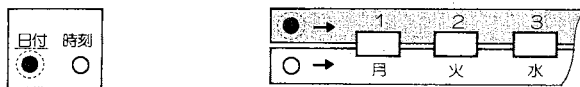
プログラム表とプログラムの作成例

[ステップ01]
8時30分に印字欄を2に移し、時報1(ウェストミンスター)を鳴らします。また、以降の打刻を赤印字にします。
[ステップ02]
10時に印字欄を3に移します。
[ステップ03]
土曜日の12時に印字欄を4に移し、時報1を鳴らします。また、以降の打刻を黒印字にします。
[ステップ04]
土曜日の13時に印字欄を5に移します。この時刻から残業時間を算出し、退出時刻と残業時間の両方をカードに印字します。
[ステップ05]
月～金の17時30分に印字欄を4に移し、時報1を鳴らします。以降の打刻を黒印字にします。
[ステップ06]
月～金の18時に印字欄を5に移します。この時刻から、退出時刻と残業時間(17時30分からの残業時間)の両方をカードに印字します。

●プログラム表と作成例

電源を投入します

1 鍵を「R」の位置に合わせ、前扉と上蓋を開きます。

2 本体の電源コードをコンセントに差し込んでください。電源が投入され、ブザーが鳴ります。

3 次に、電池スイッチを「入」に切り換え、カードスイッチをご使用のカードに合わせてセットします。

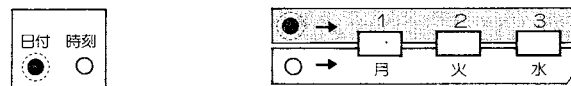
注
* 電池スイッチを入れると、ブザーが止まって自動的にイニシャライズ作業を開始します。イニシャライズとは、機械が自分で行なう準備作業のことです。
イニシャライズの途中では1欄から6欄のランプが順番に点灯します。

4 イニシャライズを終了して日付設定モードに移ると、日付の項目の赤ランプが点灯します。
この状態で、日付の設定を行なうことができます。

以上でプログラムをセットするための準備は終了です。

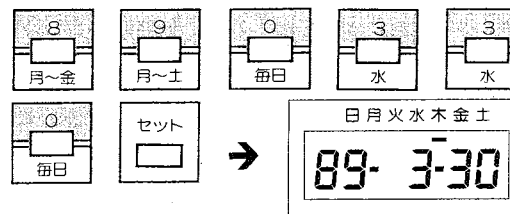
* 電池スイッチは、いったん「入」に切り換えたら、切らないように注意してください。
* 電池スイッチを切ると、電源コードが差し込まれている場合は、再度「入」に切り換えるまでエラー表示をします。電源コードが差し込まれていない場合は、セットしたプログラムが消えてしまいます。

日付をセットします

イニシャライズが終了したら、まず日付をセットします。
日付のセットは次の手順で行ないます。

1 日付の項目の赤ランプと数字キーの緑ランプが点灯していることを確認します。

注
* 緑色のランプが点灯しているときは、数字が入力できます。

2 数字キーを使って下記のように6桁の年月日を入力し、[セット]を押します。

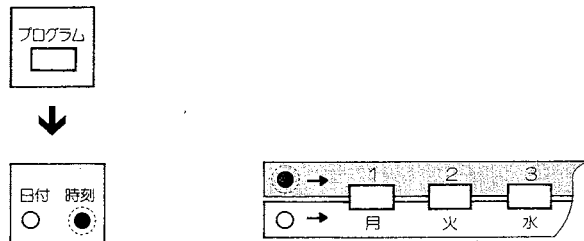
例：1989年3月30日

注
* 日付は、年月日のいずれも2桁で入力します。
年は西暦の下2桁とし、月または日が1桁の場合は最初の1桁を0として2桁の数字で入力します。
* [セット]を押す前に、7桁目の数字を入力すると、前の6桁が取り消され、7桁目の数字が新たに日付の1桁目として入力されます。

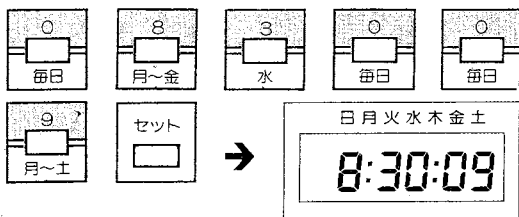
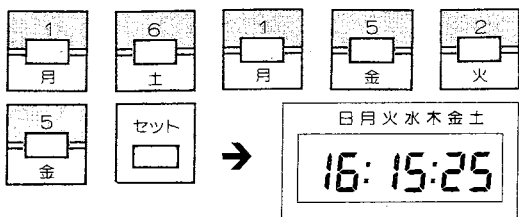
* ありえない日付を入力すると、[セット]を押したときにブザーが鳴って、入力した数字がすべて取り消され、入力前の状態に戻ります。
* 初めてご使用のときは、日付はセットされていません。まず日付をセットしてから時刻のセットへ移行してください。
日付がセットされていない場合は、[プログラム][作動]は使用できません。

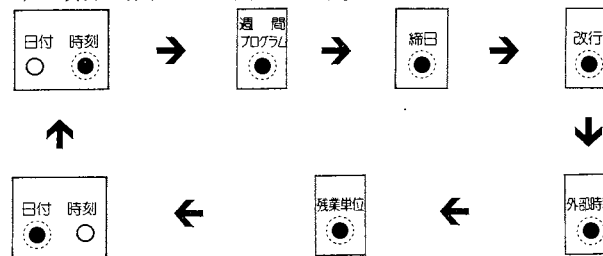
時刻をセットします

日付に続いて、現在の時刻を次の手順でセットします。

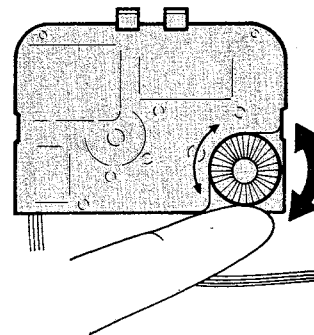
1 ［プログラム］を押して、時刻の項目に移動します。「時刻」の項目の赤ランプと数字キーの緑ランプが点灯します。

注
* 緑色のランプが点灯しているときは、数字が入力できます。

2 数字キーを使って、下記のように24時制で時刻(時分秒)を入力し、［セット］を押します。
時計が動き始めます。

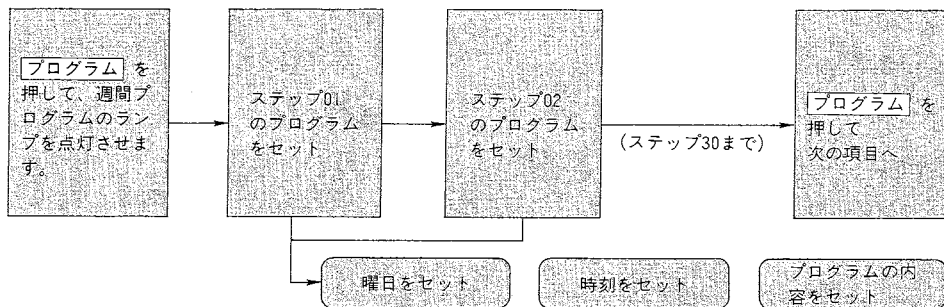
例1：午前8時30分09秒

例2：午後4時15分25秒

注
* 時刻は、時分秒のいずれも2桁で入力します。
指定する時刻の時.分.秒が1桁の場合は、最初の1桁を0として2桁の数字で入力します。
* 日付の場合と同様に、7桁目の数字を入力すると、前の6桁が取り消され、それが新たに時刻の1桁目として入力されます。

* ［プログラム］は項目を選択するボタンです。1回押すごとに次の順番で項目が変わり、対応する項目の赤ランプが点灯します。

* ありえない時刻を入力すると、［セット］を押したときにブザーが鳴って、入力した数字がすべて取り消され、入力前の表示に戻ります。
* 時刻の最後の2桁には[00]を入力しておき、時報に合わせて［セット］を押すと、正確な時刻合わせができます。
* 初めてご使用のときは、時刻はセットされていません。日付に続いて時刻をセットしてから他の項目のセットや作動に移行してください。
時刻がセットされていない場合は、［プログラム］［作動］は使用できません。
* 日付・時刻の両方を設定しないと、停電時に設定内容の保障ができません。
設定の途中で停電になった場合は、通電状態に戻ったとき、初期状態からスタートします。

アナログ時計のセット

上記の時刻に合わせてアナログ時計もセットします。
これ以降、アナログ時計は、デジタルの時計と連動して動きます。

一週間のプログラムをセットします

先に作成したプログラム表に基づいて一週間のプログラムをセットします。
QR-700シリーズは、曜日と時刻ごとに、始業、終業、残業、印字欄、時報をセットできます。
なお、機種により指定できる項目が異なります(「プログラム表の作成」の項参照)。

週間プログラムは次の手順でセットします。

週間プログラムを、1ステップずつセットします。
各ステップごとに必ず曜日と時刻を指定しなくてはなりません。

> *「始業」を指定すると、以降の印字は赤に、「終業」を指定すると、以降の印字は黒になります。
> *週間プログラムは30ステップまでセットすることができます。
> また、セットのたびにステップ数を確認することができます。
> *週間プログラムの項目を選択したときにすでにプログラムがセットされている場合は、週間プログラムのランプが点滅し、プログラムが表示されます。
> このとき、そのプログラムの修正・削除・確認を行なうことができます。

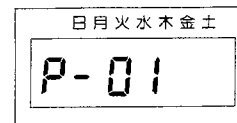
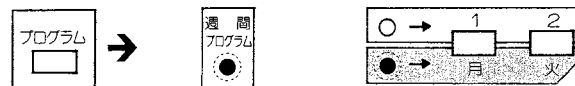
週間プログラムの入力例

次の例題を使って、プログラムのセット方法を1ステップずつ詳しく説明します。

ステップ	曜日	時刻	印字欄	時報	始業	終業	残業	備考
01	月～土	0830	2	1	○			
02	月～土	1000	3					
03	土	1200	4	1		○		
04	土	1300	5			○	○	
05	月～金	1730	4	1		○		
06	月～金	1800	5				○	
07								

1 プログラム を押して、「週間プログラム」のランプを点灯させます。橙色の曜日ランプが点灯します。

日月火水木金土
P-01

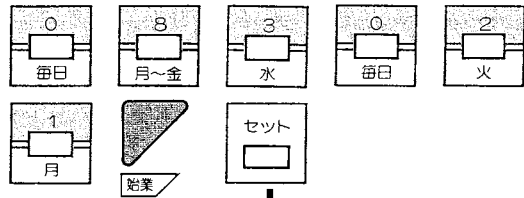
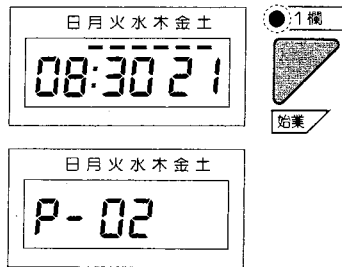
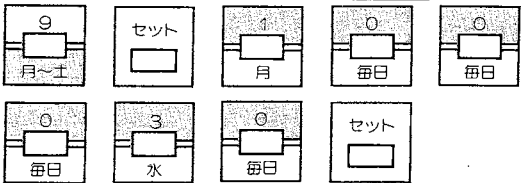
注
*橙色の曜日ランプが点灯したときは、曜日入力ができます。

2 曜日キーでステップ01の曜日を指定し、セット を押します。
曜日の入力が確定し、緑色の数字ランプが点灯します。

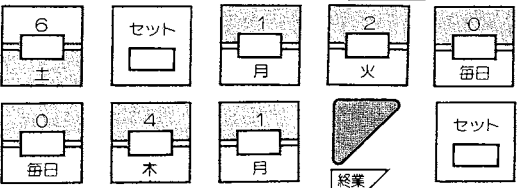
注
*曜日キーは、セット を押すまで、繰り返し何回でも押すことができます。
誤って セット を押してしまった場合は、クリア を押してください。「P－01」の表示に戻って、曜日の指定をやり直すことができます。

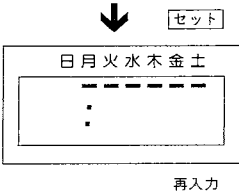
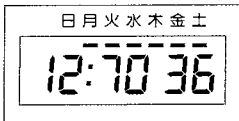
*月 から 日 の各キーは、その曜日が設定されていない場合は、表示されている曜日に追加されます。その曜日が設定されている場合は、取り消します(下表参照)。

*月～金、月～土、毎日 の各キーは、指定されている曜日とは無関係に一度で指定できます(下表参照)。

キー操作	日	月	火	水	木	金	土
月		○					
火		○	○				
月			○				
月～金		○	○	○	○	○	
毎日	○	○	○	○	○	○	○
水	○	○	○		○	○	○

3 ステップ01のプログラム内容を指定し、[セット]を押します。

週間プログラムのステップ01がセットされます。
セットしたプログラムが再表示された後、すぐにステップ02の表示に変わります。

4 ステップ02のプログラムを入力し、[セット]を押します。

ステップ02がセットされ、ステップ03の表示に変わります。

5 ステップ03のプログラムを入力し、[セット]を押します。

注
* 指定する時刻(時または分)が1桁の場合は、最初の1桁を0として2桁の数字で入力します。
* 7桁目を入力すると、前の6桁は自動的に取り消され、7桁目の数字が新たに1桁目として指定されます。なお、[クリア]を押すと、指定した曜日も取り消され、曜日入力の状態に戻ります。
* 印字欄、時報を指定しない場合は、「0」を入力してください。QR-721の場合は、印字欄および時報を入力しても、対応する桁は自動的に0になります。
* 時報の項目で指定する数字とメロディの対応については、「メロディの吹鳴」を参照してください。
* 始業ランプが点灯したときに再度[始業]を押すと、ランプが消灯し、始業の指定を取り消すことができます。
* 存在しない時刻や印字欄を指定した場合、[セット]を押したときにブザーが鳴って表示が消えます。再度時刻の指定からやり直してください。

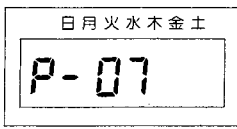
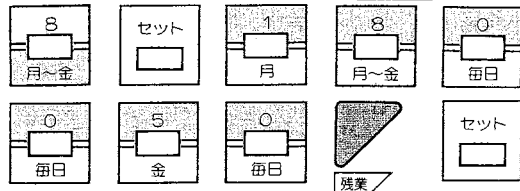
再入力

注
* [終業]を押すと、終業のランプが点灯します。
ランプが点灯しているときに再度[終業]を押すと、ランプが消灯し、終業の指定を取り消すことができます。

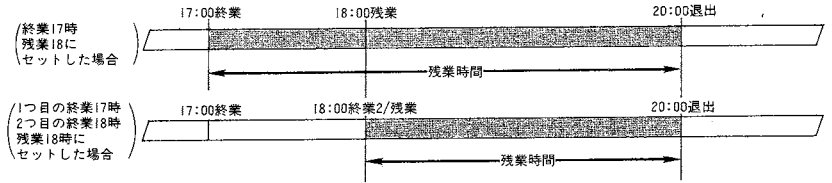
ステップ03がセットされ、ステップ04の表示に変わります。

6 ステップ04のプログラムを入力し、[セット]を押します。

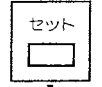
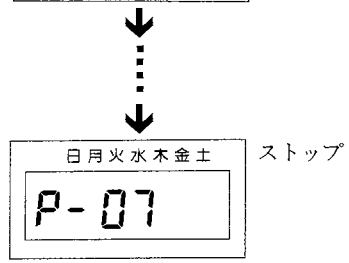
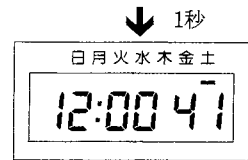
注
* [残業]を押すと、残業のランプが点灯します。
ランプが点灯しているときに再度[残業]を押すと、ランプが消灯し、残業の指定を取り消すことができます。

7 ステップ05のプログラムを入力し、[セット]を押します。

8 ステップ06のプログラムを入力し、[セット]を押します。

ステップ06がセットされ、空きのステップが表示されます。

＊始業を指定すると、その時刻から終業時刻までの打刻は赤印字となります。
＊終業を指定すると、その時刻から翌日の始業時刻までの印字は黒印字となります。
＊残業を指定すると、その時刻からは、退出時刻と残業時間の両方がカードに印字されます。
残業時間とは、セットされた終業時刻から退出までの時間のことです。
＊ QR-723と QR-721は、残業の指定を行なえません。
＊複数の終業時刻が指定されている場合、残業時間の計算は、最後に指定された終業時刻から行なわれます。この機能を利用して、終業時刻と残業積算開始時刻を独立に指定することもできます。

＊残業の丸め単位は、「残業単位」の項目で指定します。

週間プログラムの確認

1 空きのステップが表示されている状態(P-01……P-30)で、[セット]を押します。
ステップ01のプログラムが表示され、週間プログラムのランプが点滅します。

2 [セット]を押し続けると、約1秒間隔でセットされているステップの内容が表示されます。キーを離すと、その時の表示で止まります。
キーを離さずに押し続けると、空きのステップが表示された時点で表示が止まります。
確認が終了したら、[プログラム]を押して、締日など、他の項目のセットに進んでください。

注
＊ここで、[セット]を2回押すたびに1ステップずつプログラム内容を確認することができます。内容をじっくり確認したい場合に便利です。

＊確認の途中で[プログラム]を押すと、確認作業を終了して次の項目(締日)に移ります。

週間プログラムの修正

下記の例1、例2に基づいて、週間プログラムの修正、削除、追加の方法を説明します。

例１：
現在、土曜日のプログラムがステップ03、04にセットしてありますが、土曜日も月～金曜日と同じプログラムにします。

ステップ	曜日	時刻				印字欄	時報	始業	終業	残業	備考
01	月～土	0	8	3	0	2	1	○			
02	月～土	1	0	0	0	3					
03	~~土~~	~~1~~	~~2~~	~~0~~	~~0~~	~~4~~	~~1~~		~~○~~		
04	~~土~~	~~1~~	~~3~~	~~0~~	~~0~~	~~5~~			~~○~~	~~○~~	
05	月～土 ~~月～金~~	1	7	3	0	4	1		○		
06	月～土 ~~月～金~~	1	8	0	0	5				○	
07											

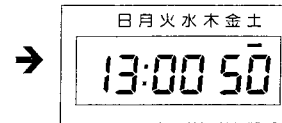
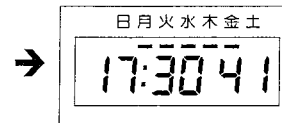
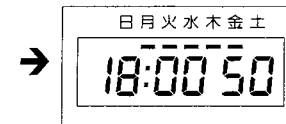
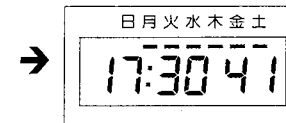
1 ［プログラム］を押して、週間プログラムの項目を指定します。
プログラムがセットされていますので、「週間プログラム」のランプが点滅し、ステップ01のプログラムが表示されます。
（セットされていない場合は、ランプが点灯し、「P-01」が表示されます。）
また、曜日ランプが点灯します。

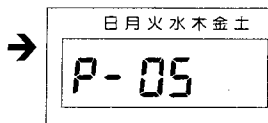
点滅

2 ［セット］を押し続け、ステップ03のプログラムが表示されたら離します。

注
＊週間プログラムのセット直後に修正・追加を行なう場合は、［プログラム］を押す必要はありません。

注
＊ステップ03の表示を通り過ぎてしまったときは、［セット］を押し続けて空きのステップ表示(P-01……P-30)にし、再度②の操作を行なってください。

3 週間プログラムのランプが点滅、曜日ランプが点灯していることを確認し、［クリア］を押します。
そのステップの内容が削除され、次のステップにセットされていたプログラムが繰り上がって表示されます。また、週間プログラムのランプが点滅します。

4 再度［クリア］を押します。
次のステップのプログラムが繰り上がって表示されます。

5 曜日を修正します。
プログラムをセットする場合と同様の方法で曜日を指定して、［セット］を押します。
曜日が修正され、プログラムのランプは点滅から点灯に変わります。

週間プログラムのランプは再び点滅に変わります。

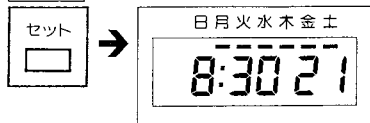
6 同じように曜日を修正し、［セット］を押します。

注
＊週間プログラムのランプと数字ランプが点灯しているときは、［クリア］［クリア］と押すとプログラムが削除できます。

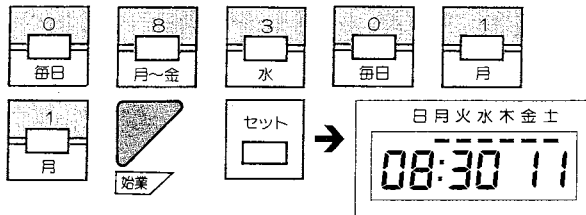
注
＊時刻、印字欄、時報などを修正する必要がない場合は、［セット］だけを押してください。

例2：
始業時刻から終業時刻の間にタイムカードを挿入すると赤で印字されるということは前述しました。ここでは、8時30分から赤印字するプログラムを8時31分から赤印字に変更します。

ステップ	曜日	時刻				印字欄	時報	始業	終業	残業	備考
01	月～土	0	8	3	0	~~2~~ 1	/	~~○~~			
02	月～土	1	0	0	0	3					
03	土	1	2	0	0	4	/		○		
04	土	1	3	0	0	5			○	○	
05	月～金	1	7	3	0	4	/		○		
06	月～金	1	8	0	0	5				○	
07	月～土	0	8	3	1	2		○			← 追加

1 プログラム を押して、週間プログラムの項目を指定します。週間プログラムのランプが点滅し、曜日ランプが点灯します。

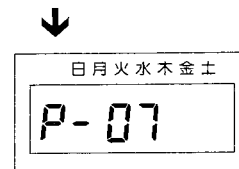
2 まず、修正するステップ(ここではステップ01)を指定して、セット を押します。

週間プログラムのランプが点滅から点灯に変わり、数字ランプが点灯します。

次に、修正するプログラムを入力します。

ステップ01のプログラムが修正され、ステップ02のプログラムが表示されます。

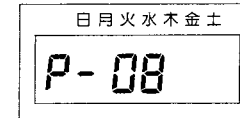
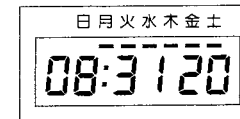
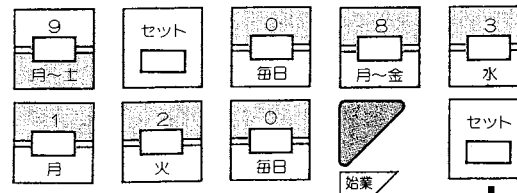
注
＊曜日の変更がない場合は、セット だけを押してください。

＊時刻、印字欄、時報のいずれかを入力する場合は、セットのときと同様に、すべてを入力し直します。

＊始業、終業、残業の指定を変更する場合は、対応するキーを押します。ランプが切り替わって(消灯←→点灯)指定が変更されます。

3 セット を押し続け、空いているステップが表示されたら、離します。

4 プログラムのセットと同様の手順で追加プログラムを入力します。

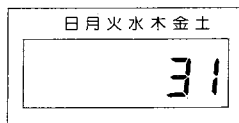
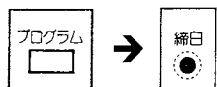
日月火水木金土
08:31 20

日月火水木金土
P- 08

注
＊プログラムの追加は、セットされているプログラムの最後に行ないます。途中のステップに挿入することはできません。

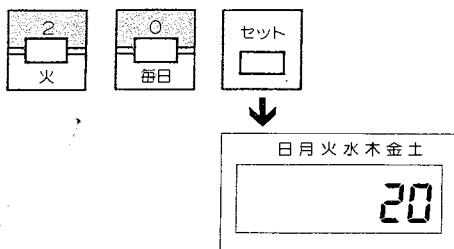
＊一度週間プログラムを作動させると、時刻の順番(曜日は無関係)にプログラムが並べ替わります。改行時刻が指定されている場合は、それが先頭になります。
上の例題の場合、追加した7ステップ目のプログラムは、ステップ02に挿入されます。

締日をセットします

締日のセットは次の手順で行います。

1 プログラム を押して、締日の項目に移動します。
締日はあらかじめ31日にセットしてあります。

現在セットされている締日

2 現在セットされている締日を変更する場合は、1桁または2桁の数字(1-31日)で指定し、セット を押します。
任意の数字キーを押すと、あらかじめセットされていた値が取り消され、指定した値が表示されます。

例：20日が締日の場合

注
＊表示された締日を変更しなくてもいい場合は、プログラム を押して他の項目のセットに移るか、作動 で通常の表示にします。

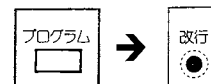
＊いったん締日を入力した後、さらに数字キーを押すと、前に入力された値が一つずつ左に追い出されます。

＊設定されている締日が存在しない月は、その月の最終日が締日となります。

改行時刻をセットします

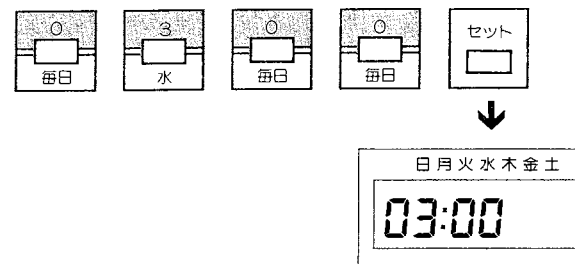
改行時刻とは、カードの印字行を1行改行して、翌日の行に移る時刻のことです。
改行時刻のセットは次の手順で行ないます。

1 プログラム を押して、改行の項目に移動します。
改行時刻はあらかじめ5時にセットしてあります。

日月火水木金土
5:00

現在セットされている改行時刻

2 現在セットされている改行時刻を変更する場合は、数字キーで改行時刻を指定し、セット を押します。
任意の数字キーを押すと、あらかじめセットされていた値が取り消され、入力した値が表示されます。

例：午前3時に改行させる場合

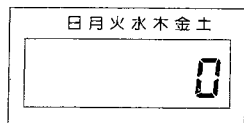
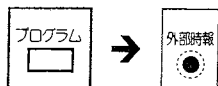
日月火水木金土
03:00

注
＊表示された改行時刻を変更しなくてもいい場合は、プログラム を押して他の項目のセットに移るか、作動 で通常の表示にします。

＊セット を押す前に5桁目の数字を入力すると、前の4桁が取り消され、5桁目の数字が、新たに1桁目として入力されます。

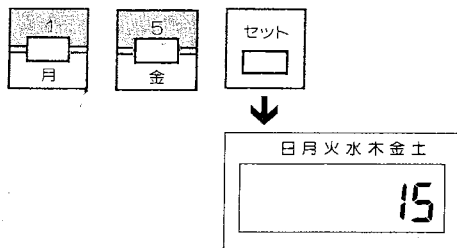
＊改行時刻では、印字欄は1に移動し、黒印字となります。

外部時報吹鳴時間をセットします(QR-723、QR-725)

外部時報吹鳴時間は、QR-700シリーズに内蔵されているメロディ以外の時報を接続して使用する場合に、秒単位で指定します。
外部時報は、プログラムで指定した時刻に、ここで指定した時間だけ吹鳴します。
外部時報吹鳴時間のセットは次の手順で行ないます。

1 プログラム を押して、外部時報の項目に移動します。
外部時報は、あらかじめ0(秒)にセットしてあります。

現在セットされている
外部時報吹鳴時間

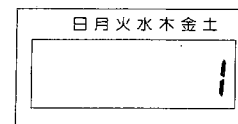
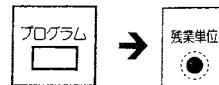
2 現在セットされている吹鳴時間を変更する場合は、1桁または2桁の数字(0-30秒)で指定し、セット を押します。

例：15秒間鳴らす場合

注
* 表示された吹鳴時間を変更しなくてもいい場合は、プログラム を押して他の項目のセットに移るか、作動 で通常の表示にします。
* 数字キーを押すと、前にセットされている数字は一つずつ左に追い出されます。

* 内蔵されている時報をご使用の方は、吹鳴時間を指定する必要はありません。
* QR-721は外部時報吹鳴時間の指定を行なえません。
* 外部時報のつなぎ方は、「6.外部時報のつなぎ方」を参照してください。

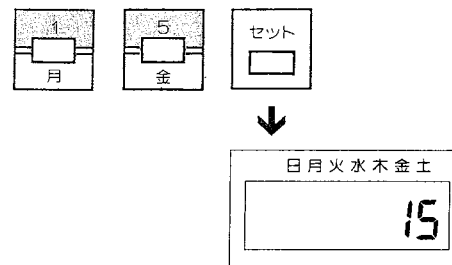
残業単位をセットします(QR-725)

残業単位とは、残業時間を印字するときの丸めの単位です。
1分から30分まで分単位で指定できます。
残業単位のセットは次の手順で行ないます。

1 プログラム を押して、残業単位の項目に移動します。
残業単位はあらかじめ1分にセットしてあります。

現在セットされている
残業単位

2 現在セットされている残業単位を変更する場合は、1桁または2桁の数字(1-30分)で指定し、セット を押します。

例：残業時間を15分単位で丸める場合

日月火水木金土
15

注
* 表示された残業単位を変更しなくてもいい場合は、プログラム を押して他の項目のセットに移るか、作動 で通常の表示にします。
* 数字キーを押すと、前にセットされている数字は1桁ずつ左に追い出されます。

* 丸めの処理は、残業時間の分のみを対象とします。
60の約数以外の単位(分)を指定すると、次のようなことが起こります。
例：残業単位が7分のときに1時間3分(63分)の残業を行なった場合残業時間は1時間となります。(3分に対してのみ丸め処理を行ないます。)
* QR-721、QR-723は、残業単位の指定を行なえません。

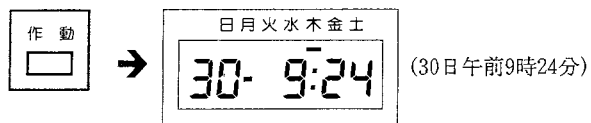
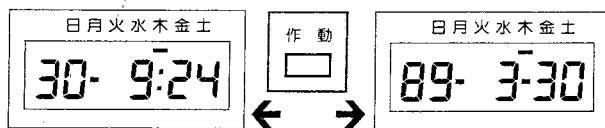
4 操作の方法

ここでは、セットしたプログラムに基づいて、日常QR-700シリーズを使用するための操作方法を説明します。

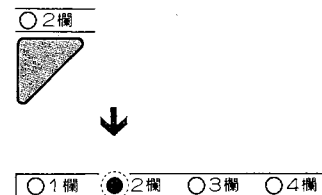
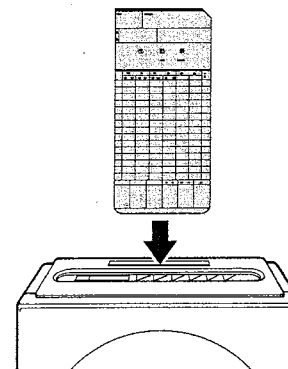
タイムレコーダの作動

日付や週間プログラムなどのセットが終了したら、通常の使用状態に切り換えます。

1 [作動]を押します。
デジタル表示欄が日時分の表示に切り替わり、通常の使用が可能な状態になります。

(30日午前9時24分)

2 デジタル表示は、日時分または年月日のどちらかを選択できます。
[作動]を押すと、交互に表示が切り替わります。

印字欄の移動

印字欄を手動で移動して、任意の欄に打刻することができます。
(DまたはGカードを使用している場合は、[1欄]から[4欄]までが有効です。)

1 [1欄]～[6欄]または[1欄]～[4欄]のキーを押します。
週間プログラムで印字欄の指定がある場合は、指定した印字欄のランプが点滅します。
QR-721をご使用の場合、または週間プログラムで印字欄の指定がない場合は、指定した印字欄のランプが点灯します。

2 カードを挿入します。
移動した印字欄に印字が行なわれます。

＊週間プログラムで印字欄の指定がある場合、印字終了後、または10秒後、印字欄のランプは元の位置に戻ります。
＊ QR-721をご使用の場合、または週間プログラムで印字欄の指定がない場合は、次に印字欄移動キーが押されるか、改行時刻がくるまで、その位置を保持します。
＊印字欄のランプが点滅しているときは、残業がセットされていても残業時間の印字を行ないません。また、点灯している場合でも、最右欄を指定した場合は、残業を印字しません。

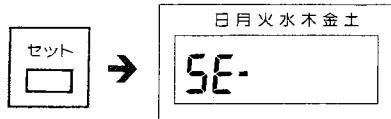
コメント印字(代打処理)

セット と数字キーを組み合わせて、次の7種類のコメントを印字することができます。

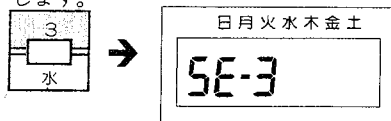
キー	コメント	意味
1	ユウキュウ	有休
2	ケッキン	欠勤
3	シュッチョウ	出張
4	ケイチョウ	慶弔
5	ダイキュウ	代休
6	フリキュウ	振休
7	タキュウ	他休

印字の手順は次の通りです。

1 プログラム中のときは、作動 を押して通常の使用状態(日時分または年月日の表示状態)にします。

2 セット を押します。

3 印字したいコメントに対応する数字キー 1 ～ 7 を押します。印字欄が移動し、6欄(4欄カードの場合は4欄)のランプが点滅します。

日月火水木金土
SE-3

注
＊ここで 作動 を押すと、コメント印字の指定を取り消して、通常の状態に戻ります。
セット を押すと、②の状態に戻ります。

4 カードを入れると、コメントが最右欄に赤で印字されます。何枚でも繰り返し実行できます。

注
＊ここで 作動 を押すと、コメント印字の指定を取り消して、通常の状態に戻ります。

＊印字を行なうときは、**キーを押してから30秒以内にカードを入れてください。**
30秒を経過すると、自動的にコメント印字状態を解除します。
コメント印字したカードを取り出して**次のカードを入れるときも、30秒以内に行なってください。**
＊コメント印字実行中は、週間プログラムの実行を中断します。
中断時間中に時報の吹鳴がセットされていても実行しません。
通常の状態に戻ったときは、中断中のプログラムから現在(戻った時刻)の状態に移行しますので、以後の処理をセット通りに実行できます。

休日の登録と印字

あらかじめ1ヶ月間の休日を登録し、カードに印字することができます。
登録されたデータは、登録の月の締日まで保存され、締日を過ぎると自動的に消去されます。
この登録データは、カードに休日を印刷するために使用します。他の利用はできません。

印字サンプル：

Cカード(両面)表面

	午前		午後		残業		小計
	出勤	退出	出勤	退出			
1							
2							
3							
4						休日	
5						休日	
6							
7							
8							
9							
10							
11						休日	
12						休日	
13							
14							
15							

Cカード(両面)裏面

	午前		午後		残業		小計
	出勤	退出	出勤	退出			
16							
17							
18							
19						休日	
20							
21						休日	
22							
23							
24							
25						休日	
26						休日	
27							
28							
29							
30							
31							

休日の登録

次の例題を使って、休日の登録方法を説明します。
例：1989年2月に、3月分の休日を登録します。

〔1989年3月〕

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	④
⑤	6	7	8	9	10	⑪
⑫	13	14	15	16	17	18
⑲	20	㉑	22	23	24	㉕
㉖	27	28	29	30	31	

締日：31日

1. 土、日を休日登録
2. 18日(土)を削除
3. 21日を追加登録

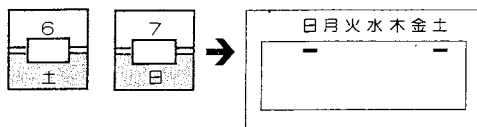
1 プログラム中のときは、作動 を押して通常の使用状態(日時分または年月日の表示状態)にします。

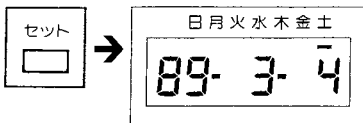
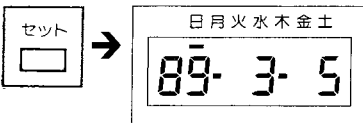
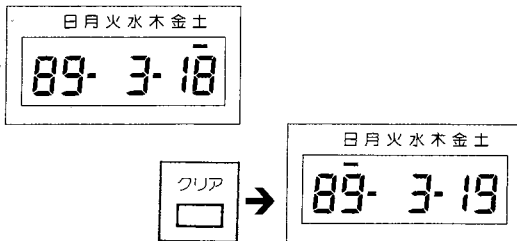
2 セット 8 と押します。
翌月の最初の年月日が表示され、点滅します。

点滅

注
＊すでに登録されている休日は、すべて取り消されます。
＊当月(上記の例では2月)の休日を登録するときは、クリア を押します。

3 休日の曜日を指定します。

注
＊曜日の指定方法については、週間プログラムの曜日指定を参照してください。

4 セット を押します。
指定の曜日に対応する日付が登録されます。
曜日ランプが消え、最初の休日が表示されます。

注
＊締日の翌日から休日が登録されます。上の例で締日が25日の場合は、最初の休日は、2月26日(日)となります。

5 休日の確認、削除を行ないます。
まず、3月4日は休日ですので、セット を押します。
次の休日が表示されます。

6 日付を確認しながら セット を押して、3月18日を表示します。
3月18日は休日ではないので、クリア を押して削除します。
次の休日が表示されます。

7 残りの日付も同様に確認しながら セット を押します。
指定した曜日に対応する日付をすべて表示すると、ブランク表示になります。

注
＊ブランク表示のときに再度 セット を押すと、最初の日付に戻ります。

8 ブランク表示のとき、追加する日付を入力して セット を押すだけで、休日を追加することができます。
3月21日を追加します。

注
＊同様にして、必要なだけ休日を追加することができます。

＊指定の月に存在しない日付を入力することはできません。

＊日付の指定を間違った場合は、セット を押す前に クリア を押して消去します。

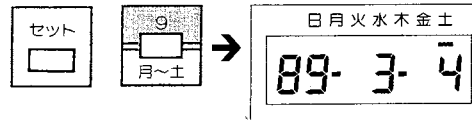
9 作動 を押します。
休日の登録を終了して通常の使用状態になります。

注
＊締日を修正すると、休日の登録は削除されます。
再度登録してください。

休日の確認・修正

登録されている休日を確認することができます。
また、削除・追加もできます。

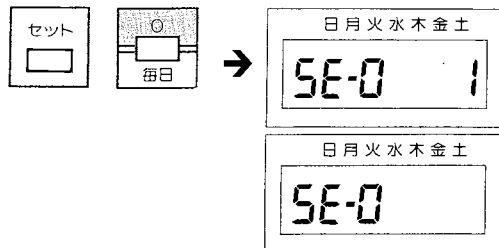
1 プログラム中のときは、作動 を押して通常の使用状態(日時分または年月日の表示状態)にします。

2 セット 9 と押します。
登録されている最初の休日が表示されます。

以降は、「休日の登録」5～9の操作で、確認・削除・追加が行なえます。

休日の印字

あらかじめ1ヶ月分の休日をカードに印字することができます。
カードを挿入すると、登録されている休日に対応する行の最右欄に赤で「休日」と印字します。
片面カードは1回、両面カードは2回挿入します。

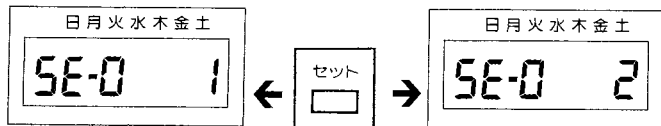
1 プログラム中のときは、[作動]を押して通常の使用状態(日時分または年月日の表示状態)にします。

2 [セット][0]と押します。
印字欄が移動し、6欄(4欄のカードの場合は4欄)のランプが点滅します。

3 カードを挿入すると、登録された休日の行の最右欄に赤で「休日」と印字します。
何枚でも繰り返し実行できます。

4 [作動]を押すと、休日印字状態を解除して、通常の状態に戻ります。

＊休日が登録されていないときに[セット][0]と押すとエラーになります。
＊両面カードのときは、表、裏の順に印刷します。
表を印刷してカードを取り出すと表示が替わります。

日月火水木金土
SE-0 2

なお、[セット]を押すと、印字する面を変更できます。

＊キーを押してから30秒以内にカードを入れてください。
30秒を経過すると、自動的に休日印字状態を解除して、通常の状態に戻ります。1枚のカードを取り出して**次のカードを入れるときも、30秒以内に行なってください。**

メロディの吹鳴

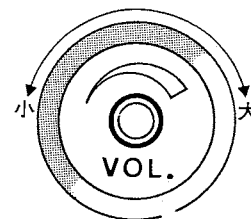
タイムレコーダに内蔵されているメロディを手動で鳴らすことができます。
メロディを選択したり、音量を調節するときに便利です。

1 通常の使用状態で、数字キーの[1]～[9]を押すと、対応するメロディが吹鳴します。[0]を押すと停止します。

キー	メロディ	吹鳴時間
1	ウェストミンスター	約21秒
2	レントラー舞曲	約38秒
3	アマリリス	約40秒
4	峠のわが家	約64秒
5	グリーンスリーブス	約64秒
6	エリーゼのために	約35秒
7	乙女の祈り	約24秒
8	山の音楽家	約22秒
9	ホルディリディア	約16秒

注
＊このメロディと数字キーの対応は、週間プログラムの指定と同じです。

音量調節のしかた

内蔵されているメロディの音量は、本体背面にあるツマミを回して調節してください。

5 プログラム使用例を使ったセット　（カードの種類とプログラム例）

プログラムのセットを容易にするために、QR－700シリーズは、4欄用、6欄用合わせて14種類のプログラム使用例を用意しています。
利用できるプログラム使用例は、カードの種類によって異なります。
ここでは、最初にカードの種類と使い方を説明してから、それぞれのカードで利用できるプログラム使用例を紹介します。

カードの種類と使い方

使用できるカードは、C(両面)、D、G、Hカードの4種類です。

6欄のカード

Cカード(両面)表面

Cカード(両面)裏面

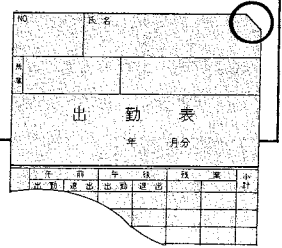
Hカード(片面)

＊Cカードが新しくなりました。従来のCカードをご使用の場合は、下記のように角を切ってください。角を切ると、カードの表裏が判別されます。

①その月の就業状況の集計結果を記入してください。
②定められた就業時間に対する過不足(残業・早出・遅刻などの集計)や、遅刻などの小計に利用してください。
③出勤は黒印字、遅刻は赤印字と、同じ欄でも区別ができます。退出・早退も同様です。
④出勤、遅刻は1、2欄に、退出、残業は5、6欄にそれぞれ印字してください。そして、外出や外出から戻ったときには、手動で印字欄を移動して3、4欄を使用してください。外出の多い社員の管理に役立ちます。

4欄のカード

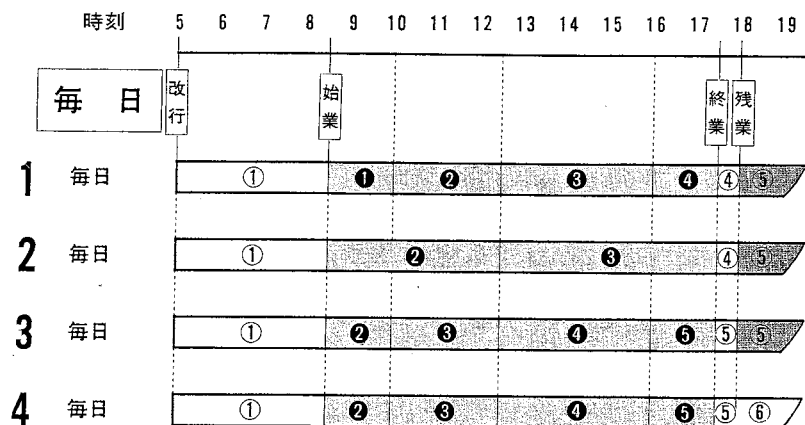
Dカード(片面)

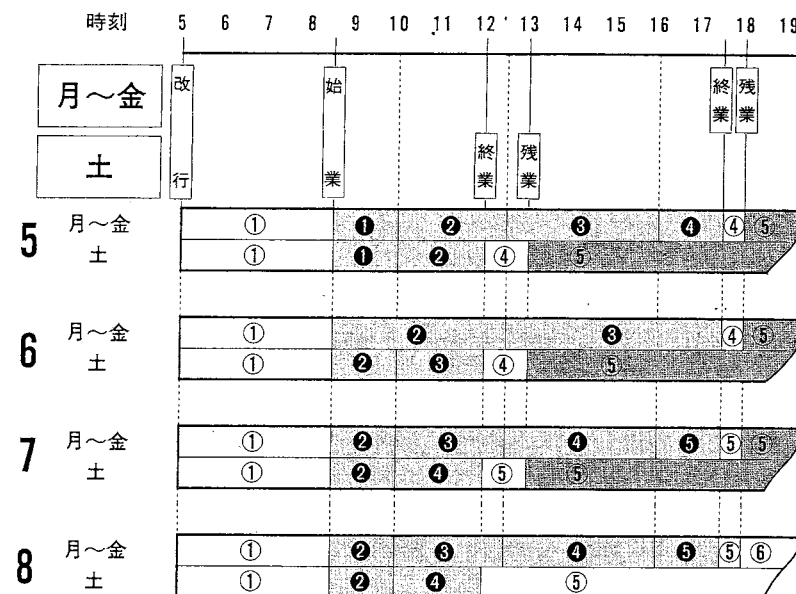
Gカード(片面)

⑤早出、直行、外出等の記録を記入してください。
⑥コメント、残業時間が印字できます。
⑦管理者の捺印欄です。
⑧カードの注文にお使いください。
⑨表は青色、裏は赤色で印刷されています。

プログラム使用例

プログラム使用例は、6欄カード用と4欄カード用に分かれています。
使用するカードがCまたはHの場合は6欄用から、DまたはGの場合は4欄用から選んでください。

6欄カード（CまたはH）の場合

6欄用のプログラムは、8種類用意しています。
例1～4は毎日の動作が同じ週間プログラム、例5～8は月～金と土の動作が異なる週間プログラムです。
いずれも始業・終業時刻には、時報1が鳴るようにセットされています。

＊丸数字は印字欄を示します。

＊ ▒ は赤印字される時間帯、 ▓ は残業時間帯です。

ここに用意したプログラム例は、QR-725 を基準にしています。したがって、QR-723、QR-721では無効になる指定もあります。

以下のプログラム表で、 ▒ は QR-725・QR-723に有効、 ▓ は QR-725のみ有効となります。

●6欄-1

ステップ	曜日	時刻	印字欄	時報	始業	終業	残業	備考
01	毎日	0830	1	1	0			
02	毎日	1000	2					
03	毎日	1230	3					
04	毎日	1600	4					
05	毎日	1730		1		0		
06	毎日	1800	5				○	
07								

●6欄-2

ステップ	曜日	時刻	印字欄	時報	始業	終業	残業	備考
01	毎日	0830	2	1	○			
02	毎日	1230	3					
03	毎日	1730	4	1		○		
04	毎日	1800	5				○	

●6欄-3

ステップ	曜日	時刻	印字欄	時報	始業	終業	残業	備考
01	毎日	0830	2	1	○			
02	毎日	1000	3					
03	毎日	1230	4					
04	毎日	1600	5					
05	毎日	1730		1		○		
06	毎日	1800					○	

●6欄-4

ステップ	曜日	時刻	印字欄	時報	始業	終業	残業	備考
01	毎日	0830	2	1	○			
02	毎日	1000	3					
03	毎日	1230	4					
04	毎日	1600	5					
05	毎日	1730		1		○		
06	毎日	1800	6					

●6欄-5

ステップ	曜日	時刻	印字欄	時報	始業	終業	残業	備考
01	月～土	0830	1	1	○			
02	月～土	1000	2					
03	土	1200	4	1		○		
04	月～金	1230	3					
05	土	1300	5			○	○	
06	月～金	1600	4					
07	月～金	1730		1		○		
08	月～金	1800	5				○	

●6欄-6

ステップ	曜日	時刻	印字欄	時報	始業	終業	残業	備考
01	月～土	0830	2	1	○			
02	土	1000	3					
03	土	1200	4	1		○		
04	月～金	1230	3					
05	土	1300	5			○	○	
06	月～金	1730	4	1		○		
07	月～金	1800	5				○	

●6欄-7

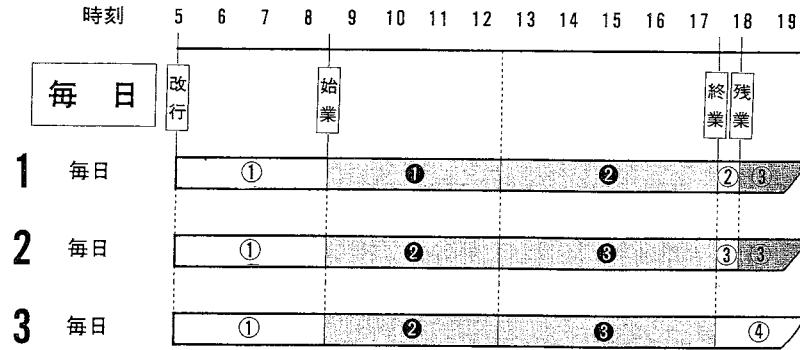
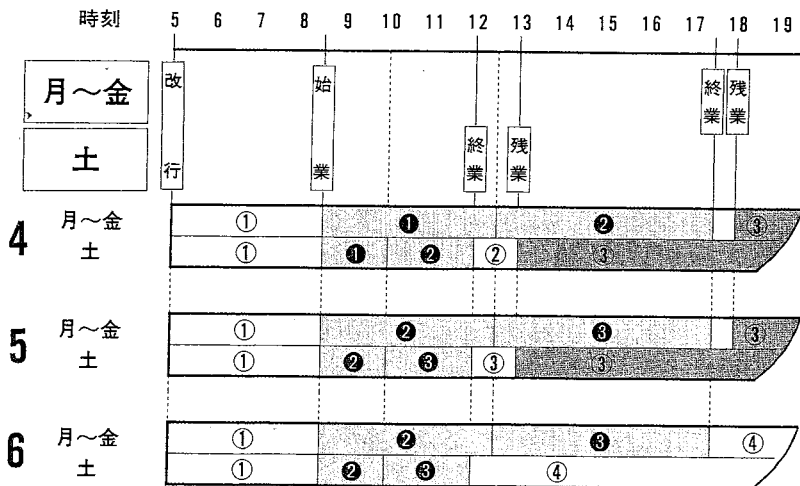
ステップ	曜日	時刻	印字欄	時報	始業	終業	残業	備考
01	月～土	0830	2	1	○			
02	月～金	1000	3					
03	土	1000	4					
04	土	1200	5	1		○		
05	月～金	1230	4					
06	土	1300				○	○	
07	月～金	1600	5					
08	月～金	1730		1		○		
09	月～金	1800					○	

●6欄-8

ステップ	曜日	時刻	印字欄	時報	始業	終業	残業	備考
01	月～土	0830	2	1	○			
02	月～金	1000	3					
03	土	1000	4					
04	土	1200	5	1		○		
05	月～金	1230	4					
06	月～金	1600	5					
07	月～金	1730		1		○		
08	月～金	1800	6					

5 プログラム使用例を使ったセット

4欄カード(DまたはG)の場合

4欄用のプログラムは、6種類用意しています。
例1～3は毎日の動作が同じ週間プログラム、例4～6は月～金と土の動作が異なる週間プログラムです。
いずれも始業・終業時刻には、時報1が鳴るようにセットされています。

＊丸数字は印字欄を示します。

＊ [ ] は赤印字される時間帯、[ ] は残業時間帯です。

ここに用意したプログラム例は、QR-725を基準にしています。したがって、QR-723、QR-721では無効になる指定もあります。

以下のプログラム表で、[ ] はQR-725・QR-723に有効、[ ] はQR-725のみ有効となります。

●4欄-1

ステップ	曜　日	時　刻	印字欄	時報	始業	終業	残業	備　考
01	毎日	0830	1	1	○			
02	毎日	1230	2					
03	毎日	1730		1		○		
04	毎日	1800	3				○	

●4欄-2

ステップ	曜　日	時　刻	印字欄	時報	始業	終業	残業	備　考
01	毎日	0830	2	1	○			
02	毎日	1230	3					
03	毎日	1730		1		○		
04	毎日	1800					○	

●4欄-3

ステップ	曜　日	時　刻	印字欄	時報	始業	終業	残業	備　考
01	毎日	0830	2	1	○			
02	毎日	1230	3					
03	毎日	1730	4	1		○		

●4欄-4

ステップ	曜日	時刻	印字欄	時報	始業	終業	残業	備考
01	月〜土	0830	1	1	○			
02	土	1000	2					
03	土	1200		1		○		
04	月〜金	1230	2					
05	土	1300	3			○	○	
06	月〜金	1730		1		○		
07	月〜金	1800	3				○	

●4欄-5

ステップ	曜日	時刻	印字欄	時報	始業	終業	残業	備考
01	月〜土	0830	2	1	○			
02	土	1000	3					
03	土	1200		1		○		
04	月〜金	1230	3					
05	土	1300				○	○	
06	月〜金	1730		1		○		
07	月〜金	1800					○	

●4欄-6

ステップ	曜日	時刻	印字欄	時報	始業	終業	残業	備考
01	月〜土	0830	2	1	○			
02	土	1000	3					
03	土	1200	4	1		○		
04	月〜金	1230	3					
05	月〜金	1730	4	1		○		

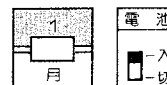
プログラム使用例の呼び出し方

プログラム使用例は、次の手順で呼び出します。

1 目的のプログラム使用例を選択します。

2 電源コードをコンセントに差し込みます。

3 カードスイッチを使用カードに合わせます。

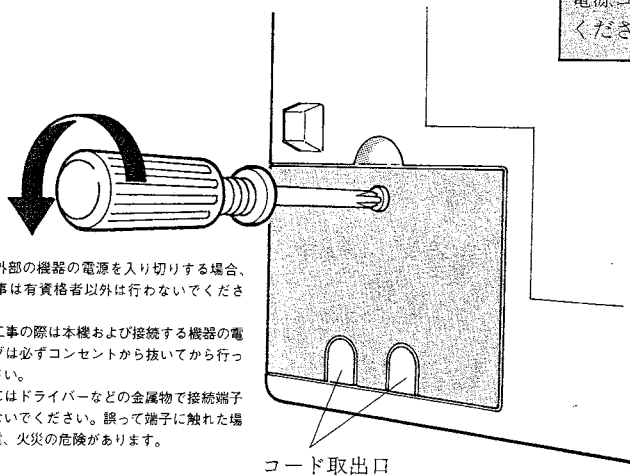
4 選択したプログラム使用例に対応する数字キーを押したまま、電池スイッチを「入」に切り換えます。(数字キーは、対応する数字が表示されるまで押し続けてください。)

イニシャライズ(タイムレコーダが自動的に行なう準備作業)が行なわれます。
イニシャライズが終了すると、指定したプログラムが呼び出され、日付セットの状態になります。

5 日付と時刻をセットします。
(日付のセット、時刻のセットの項を参照してください。)

6 [作動] を押します。
通常の使用が可能な状態(日時分の表示状態)になり、呼び出したプログラムが作動します。

* [クリア] を押して電池スイッチを入れると、テストプログラムが作動しますので、注意してください。
* キーを間違えたときは、いったん電池スイッチを切り、電源コードを抜いて、再度、はじめから実行してください。
* プログラム使用例の一部を修正することもできます。修正の手順については、「週間プログラムのセット」の項を参照してください。

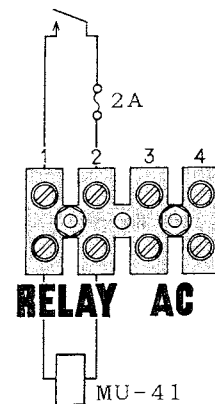
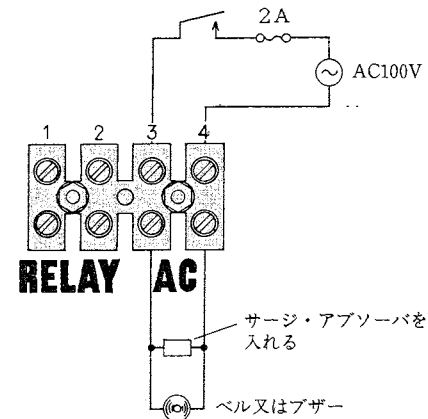
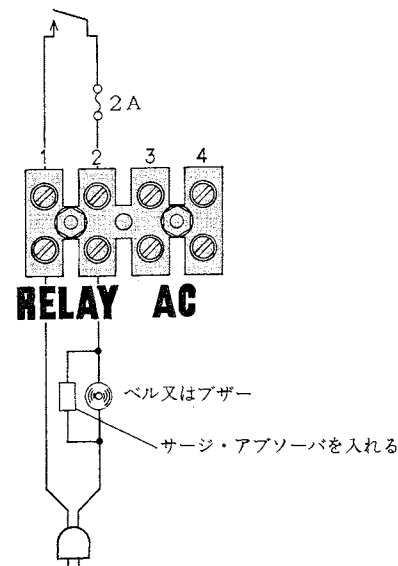
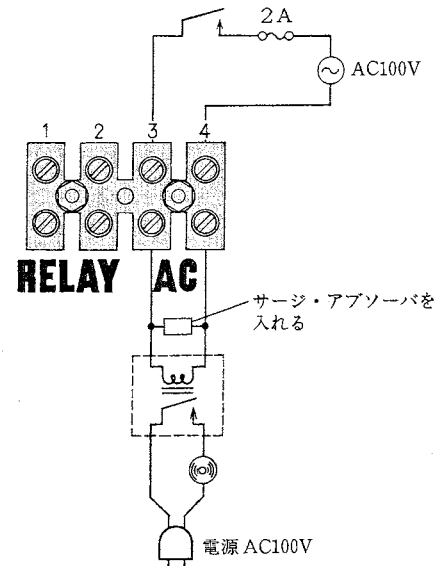
6 外部時報のつなぎ方

ブザーや専用のメロディユニット(MU-41)などの出力装置を接続して使用する場合は、まず、本体背面にあるカバーをはずしてください。

外部接点／接続仕様

1：接点出力：無電圧接点出力　1回路
　　　　　　(メイク接点)
　　　　　　AC100V 接点出力　1回路
2：接点容量：AC 抵抗負荷　250V　1.0A 以下
　　　　　　AC 誘導負荷　250V　0.5A 以下
　　　　　　DC 負荷　　　30V　1.0A 以下
3：接点出力側にはサージアブソーバ(S-1205：岡谷電機産業株式会社)などを取り付けてください。リレーの接点が溶着してしまうことがあります。
4：パワーリレーなどを接続する場合は、例えばG2R-112S-V-US(立石電機株式会社)を使用してください。

*接続した時報装置の吹鳴時間のセットについては、P30を参照してください。

接続例

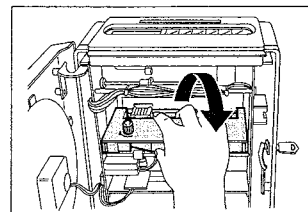
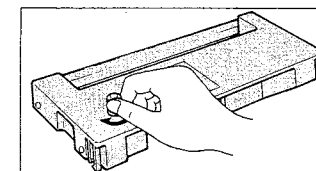
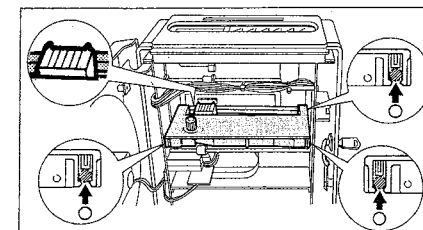
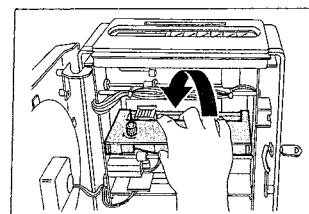
1 メロディユニット(MU-41)を接続するとき

2 タイムレコーダからAC電源を供給して、ブザー、ベルなどを接続するとき

3 タイムレコーダを接点として、ブザー、ベルなどを接続するとき

4 ACリレーを使用するとき

エラー番号一覧

番号	エラー内容	対策
00	電池のスイッチが切れています。	電池のスイッチを入れてください。
01	日付・時刻が設定されていません。（[作動]を押したとき）	日付・時刻を設定してください。
03	挿入したカードの表裏が間違っています。	正しい面を確認して挿入してください。
04	挿入したカードの種類が間違っています。	正しいカードを挿入してください。
05	カードを正しく引き込むことができません。	カードを入れ直してください。
07	休日が登録されていないため、休日の確認・印字ができません。	休日を登録してください。
10 11 12 13	RAMエラーです。 ROMエラーです。 時計が動作しません。 キーボードの動作異常です。	もう一度、電源を入れ直してください。再度エラーが起きた場合は、販売店にご連絡ください。
30	プリンタのモータまたはホームポジションセンサーの動作が異常です。あるいはリボンカセットが正しくセットされていません。	電池スイッチは「入」のまま、電源コードを抜きます。そしてリボンカセットを正しくセットしてから電源コードを再度差し込んでください。再度エラーが起きた場合は、販売店にご連絡ください。
31	プリンタのセンサーが異常です。カードなどが中に入っている疑いがあります。	電池スイッチは「入」のまま、電源コードを抜きます。中に異物が入っていた場合は、それを取り除いてから再度電源コードを差し込んでください。カードが入っていた場合は自動的に排出します。再度エラーが起きた場合は、販売店にご連絡ください。
90	ソフトまたはハードに異常があります。	電池スイッチは「入」のまま、電源コードをいったん抜き、再度挿入してください。再度エラーが起きた場合は、販売店にご連絡ください。

印字がうすくなったら～リボンの交換～

印字がうすくなりましたら、次の手順でリボンカセットを交換してください。

1 作動状態（日時分または年月日の表示状態）にして、[クリア]を押してください。

2 前扉を開けて、古いリボンカセットを取り外します。

3 新しいリボンカセットのツマミを**矢印の方向**に回して、リボンのたるみを伸ばします。

4 新しいリボンをセットします。
まず、リボンカセットの中央部を持って、リボンをプリントヘッドの先端部に引っかけるようにします。次に、リボンカセットの**左右にあるツメ**を本体の突起部（支柱）にはめ込んで、カセットの先端を押し込むようにしてセットしてください。

5 リボンカセットのツマミを、再び**矢印の方向**に2、3回まわしてください。

> ＊リボンが、プリントヘッドの先端部に正しくセットされているか確認してください。
> ＊リボンカセットの左右のツメが本体の突起部（支柱）にしっかりとはめ込まれているか確認してください。

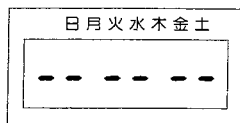
6 **作動状態（日時分または年月日の表示状態）にして、[クリア]を押してください。**プリンタのイニシャライズが行なわれます。
次に、タイムカードを挿入して、正しく印字できるかどうか試してください。
正常ならば、前扉を閉じます。

停電したら

- ◆完全密閉式のニッカド電池により、停電のときでも340時間(約2週間)は、時計や液晶表示、各種設定内容などの動作を保証します。ただし、QR-721の停電補償は72時間(約3日)です。(連続通電30時間後)
- ◆通電後に調整を行なう必要はありません。
- ◆通常、1日8時間通電すれば、内部電池を満充電の状態に保つことができます。
- ◆停電中は、次のような表示になります。
- ◆停電中は、印字やプログラムのセットを行なえません。

停電表示：

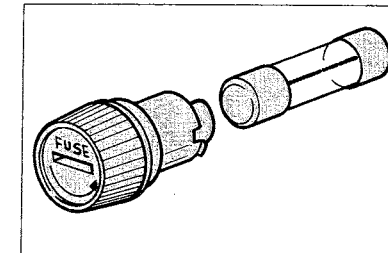
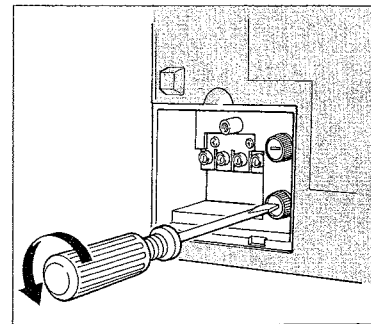
日月火水木金土

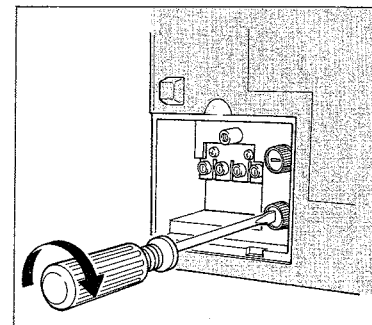
-- -- --

ヒューズが切れてしまったら

メロディユニットなど他の機器と接続してご使用になる方は、ヒューズが切れてしまったら、次の手順でヒューズを交換してください。

1 本体背面のカバーをはずします。

2 ヒューズキャップのくぼみにドライバーを入れ、左に少し回します。キャップごとヒューズがはずれます。

3 図のようにヒューズを抜きます。

4 新しいヒューズを差し込み、本体に取り付けます。

5 本体背面のカバーを取り付けます。

＊ヒューズは、(**ミニチュアミゼットタイプ 耐ラッシュヒューズA種　125V2A**)をお求めください。

8 仕様一覧

項目		QR-721	QR-723	QR-725
時計機構	アナログ表示／日付デジタル表示	○	○	○
水晶発振式	精度(常温)	月差10秒	月差10秒	月差10秒
インク	カセット式リボン	○	○	○
印字	2色(赤・黒)印字	○	○	○
	コメント印字(赤)	○	○	○
	当月・翌月休日印字(赤)	○	○	○
	ドットマトリックス方式	○	○	○
プログラム	始業時刻(赤印字開始) 終業時刻(黒印字開始)	○	○	○
	標準呼び出し使用例	○	○	○
	カード印字欄自動変更	×	○	○
	時報(メロディ9曲選択自由)	×	○	○
	残業時間印字	×	×	○
締日	任意設定	○	○	○
改行時刻	任意設定	○	○	○
メモリー保持機能		3日間	2週間	2週間
月末自動調整	万年カレンダーによる自動調整	○	○	○
Cカード両面6欄／Hカード片面6欄／D・Gカード片面4欄		○	○	○
カード表裏判別		自動判別	自動判別	自動判別
使用環境	温度：-5℃～45℃　湿度20%～90%　結露なし ただし、温度5℃以下の場合は、印字品質は保証できません			
電波障害	VCCI　1種			
大きさ	外形寸法 幅×高さ×奥行(mm)	230×282×183		
	質量	4.8Kg		

9 付属品(別売)一覧

1.タイムカード

C、H、D、Gの4種類のカードが使用できます。
C、H、Gカードは、下表を参照して、締日に合うものをカード番号でご注文ください。

カード＼締日	15日	20日	25日	31日	日付ナシ
Cカード(両面6欄)		C-20	C-25	C-31	C
Hカード(片面6欄)	H-15	H-20	H-25	H-31	
Dカード(片面4欄)				D	
Gカード(片面4欄)	G-15	G-20	G-25	G-31	

2.メロディユニット

●(MU-41)　メロディ2曲内蔵乾電池式
200m²の室内でも十分な音量、音量調節付
外形寸法：200(幅)×300(高)×120(奥)mm／重さ：約2Kg

3.カードラック

●15人用＝113(幅)×663(高)mm　約0.5Kg　プラスチック製
●30人用＝227(幅)×663(高)mm　約1.0Kg　プラスチック製
●50人用＝227(幅)×967(高)mm　約1.6Kg　プラスチック製

4.専用台(レコーダスタンド)

●カードラック(15人用、30人用)取付け可能／扉内に消耗品の収納も可能／スチール製
外形寸法：300(幅)×656(高)×280(奥)mm／重さ：約7.0Kg

5.リボンカセット　赤黒2色リボン

6.その他

● QR-700シリーズ専用鍵[2個1組]
●壁掛け金具

＊製品改良のため外観・仕様など予告なく変更することがありますのでご了承ください。
＊カード、リボン等のご注文は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

セットの早見表

日付・時刻

週間プログラム

締日・改行・外部時報・残業単位